

Dreamhop News Letter

2026.09



データに基づいた改善ができた。Res-Qご活用事例



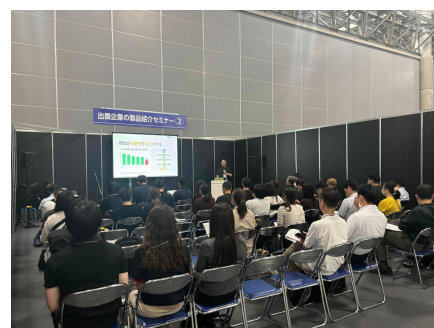
健康経営支援を展開する企業さまで、Res-Qを用いた組織改善がなされています。「施策のやりっぱなし」を防ぎ、組織状態を継続的に把握するため初のパルスサーベイを導入。感覚に頼らない「データに基づいた改善」が実現し、従業員の回答負担が少ない点も高くご評価いただいています。

健康経営や離職防止を目指す企業さまは、ぜひ事例をご覧ください。



夏のイベント・展示会 | 立ち見も出るほどの盛況でした

この夏も多くのイベント・展示会に出展し、セミナーを開催いたしました。おかげさまで立ち見がでるほどの盛況ぶりとなった回もあり、お運びくださった皆さまに御礼申し上げます。当社スタッフが講師を務めるだけでなく、プロ講師の方の登壇セミナーやサービス企業さまと一緒して職場改善の実践例をお届けする内容など、多岐にわたります。今後も実地開催・ウェビナーともに正しいウェルビーイング経営の知識をお届けいたします。



チェックしていますか？健康診断項目の一部変更



2027年4月より、労働安全衛生法に基づく診断項目の取扱いが一部変更となります。変更点は、①「喀痰（かくたん）検査」の削除、②「血清クレアチニン検査」の追加、③肝機能検査の名称変更の3点です。とくに②「血清クレアチニン検査」の追加については、腎臓の機能を調べる検査が追加に。検査結果に基づき、医師の意見聴取や事後措置、有所見者への速やかな受診勧奨などが必要となります。法改正情報を確認しましょう。



Dreamhop News Letter

2026.09



50人未満事業場のストレス チェック義務化・多店舗の場合

「従業員50名未満の事業場へのストレスチェック義務化」のニュースに、多忙な店舗を抱えるご担当者さまから「絶望……」とのお悩みが届きました。「50人未満」とは会社の従業員数ではなく拠点ごとの人数を指すため、これまで「適当で大丈夫」とお考えだった多店舗あるいは支店・営業所をもつ企業さまは要注意です。システム選びを間違えなければ、現場スタッフの負担は「スマホで数分ポチポチするだけ」に抑えられます。弊社シニアエキスパートが、いつまでに何を準備すべきか、現場での役割分担や費用について優しくお答え。義務化に向けて準備を進めたい方、必見です！



「外部相談窓口」って 本当に必要なの？

「相談はないのに突然退職される」「重い相談で担当者の自分が病みそう」。そんな人事ご担当者さまのお悩みにお答えしました。社内窓口が使われないのは、従業員に「評価への影響」や「情報漏洩」への不安があるからです。外部窓口を設置すれば、第三者のプロによる秘密保持で圧倒的な安心感が生まれ、離職を未然に防げます。さらに、プロの一次受けが担当者さまの心を守る「防波堤」にも。パワハラ防止法の改定でも、外部相談窓口の重要性はますます増すばかりです。そして、外部相談窓口とはメンタルヘルス以外の相談も可能。外部窓口は単なるコストではありません。

